

京都教区時報

Home Page <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/catholic/>

2・3頁 京都巡礼指定地紹介

4頁 大聖年行事 安土セミナリヨ2000

発行 京都司教区
責任者 村上透磨
京都市中京区河原町
三条上ル
カトリック会館
FAX
075-211-3041
「教区時報」宛と明記

点訳版「京都教区時報」(無料)
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまで申込み
TEL・FAX 0794-31-8601



聖年は 愛のしるし(証)の時

聖年は神様の年。その恵みを知り喜び、讃美し、感謝する年。
それには愛のしるしが伴う。

受肉の秘義にはじまる神の愛は憐れみ。憐れみは、人間の慘めさ(ミゼル)の共感と共振(コルディア=心)にある。

ここに救いの歴史の秘密が、ここに御子の託身(受肉)の奥義が、ここに受難・死・復活の秘義の真の理りがある。

神の憐れみ(救いと命)の秘義は個人のレベルを超えて、社会的、人類的、世界的、宇宙的、普遍的な広がりへと開がって行く。

だから教皇は「愛は私たちの目を開き、貧困の中に社会から無視されて生きている人々(国々)に何が必要かを説き、人類は今様々に新しくもっと精緻な奴隸制の前に立っている」と言う。それは例えば国家的な貧困と支払不可能な国家債務の免除。

貧しいラザロ(國)が金持ち(國)の戸口で悲鳴をあげている。
(写真は巡礼指定地の草津教会です。)

**9
2000**

京都教区巡礼指定地紹介へその8▼

今月の巡礼指定地の紹介は、草津教会です。

草津教会の一 四十三年間の歴史の一ページ

五月二十一日、日曜日教会のド

アは六時に開いてあるが誰も起きていません。しばらくして前の晩から堅信の準備として合宿していた中学生と青年のリーダーが台所に入つて眠たそうな顔で朝飯の準備をしている。夕ベキリストの復活についてのビデオを見たが、今、朝食を終えてから分かち合いをすることがになっている。眠いのに、はたして活発なディスカッションができるだろうか。前の晩しゃべりすぎたせいか、話し合いはあまり盛り上がりない。次の日曜日安土文芸セミナリオで司教様のミサのなかで堅信を受けることになっている。

神父たちはすでに出かけている。ジャクソン神父は車に乗つて彦根の八時半のミサをたてていく。アルフォンソ神父は野洲の集会場へ八時のミサをたてに行く。野洲地

区の信者・十何人かがミサの聖具や祭服や携帯用のオルガンなどを自宅から持つて、住宅の中の集会場に集つて来る。畠の部屋で祭壇として使われる折りたたみのテーブルを囲んでこじんまりとしてミサに与る。二十何年前からこの信者さんの家が密集している地区で、毎週日曜日皆がここで小教区の細胞としてがんばってきた。すぐそばをひんぱんに通る新幹線の騒音と振動に慣れているから気にしないで、畠に座つたまま祈り続ける。

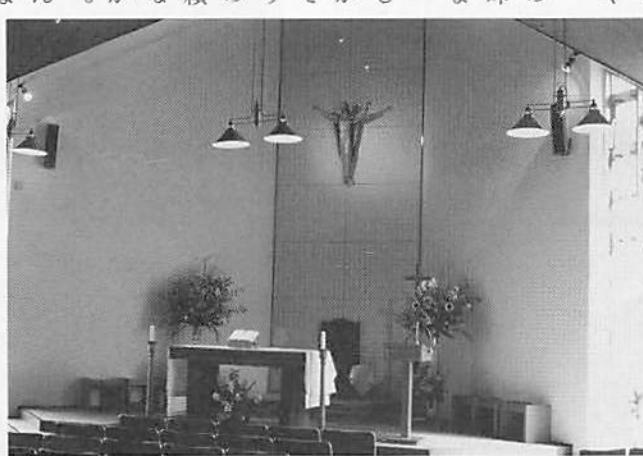
昔子供でにぎわつた共同体が時が経つにつれて変わってきた。子供が大きくなつて、よそへ行つてしまつた。昔のことを思い出せば、寂しい気持ちになる。九時に御ミサが終ると皆しゃべりながら、部屋を片付けて、聖具と祭服を籠に入れ、オルガンを担いで、家へ持つて帰る。

神父が草津に帰るとすでに香部屋の世話をする婦人たちがミサの準備をしている。二人のガードマントが駐車場の入口で交通整理をしている。なるべく軽四輪を入り口

の狭い裏の駐車場へ、早く出る人の車を入り口の近くへ、バックする方が嫌な方をやわらかに誘導する。路上駐車があると近所の迷惑になる。草津教会は町の中心部に近いところに位置されているが、

程度うまつてくる。子供たちが御聖堂の前方に腰掛けている。オルガンの伴奏で入るばかり遠いところからくる人が多い。

十時になると御聖堂が三分の二の狭い裏の駐車場へ、早く出る人の車を入り口の近くへ、バックする場を必要としている。いつも車を置く場所とその交通整理にならざっている。



ためにマイカーを利用している。またたくさんの方々が通路をふさいでいる。まだ席についていない人が通路をふさいでいく。まだ席についていない人が通路をふさいでいる。押しこむよう後にから後から人が入ってくる。ミサが始まると人々ががたがたと補助椅子をだしてすわる。日本人の間には、外國の方がたくさん混じっている。ペルー人、ボリビア人、ブルジル人、フィリピン人。それのためにパンフレットが用意されている。時々南米の方のためにスペイン語に訳された説教のプリントが配られる。

十年前まで草津教会はそんなに大きな共同体ではなかった。旧東海道が直ぐそばを通る古い町の中に建てられた小さな御聖堂が一杯だった。信徒共同体がとても親しい家族のような雰囲気で、長年がんばって来たが、都会のドーナツ現象で、京都や大阪などから人々が転居して來たので、何時の間にかベッドタウンになってしまった。

それで、信者達が二百人収容できる大きな教会に建て直す大事業に着手した。それは八年前に完成したが新しい御聖堂ができると、周辺に工場と住宅街の増加だけでなく、外国人がどっと滋賀県に入ってきたので、また御聖堂が一杯になつた。今までは皆顔と名前を知り合っていたのに、突然、人が増えると皆を覚えるのはとうてい無理になる。しかも言葉も通じなくなる。人々を受け入れる体制が変わってくる。

今日のミサが終らないうちにこどもは鈴鹿教会から四十六人の巡礼団が到着する。草津は二千年の歴史がある。婦人会と受け付けの番をしている人々がおおわらわである。巡礼団はミサをたてないで、聖体訪問してからすぐに次のところへ

行く。婦人会が必死になつてお茶を出すが、くつろいでゆっくりお茶を飲む時間もないようで、いつも一服してほしい信者が残念がっている。何のお構いもできなくて申し訳ない。

ミサ後日曜学校が二階の三つの教室で開かれている。親は下のホールでしゃべっている。青年会のリーダーが教える初聖体のクラスに南米の子供がいっしょに勉強している。前は司祭がこの子供達を日曜日の方特別なクラスでスペイン語で教えていたが、このごろスペイン語より日本語が分かりやすくなってきた。かえつて自分の親とのコミュニケーションがむずかしくなってきたようである。

お昼の時間になつたので、合宿の中学生が台所でお母さんたちといっしょに昼食を作つていて。今朝ボーキ・スカウトの集まりもあつた。ボーキの倉庫は外からものを出すようになつていて、中の活動の邪魔をしないで、ちゃんと活動の準備をしている。何をするにもスペースの分かち合いが大事である。

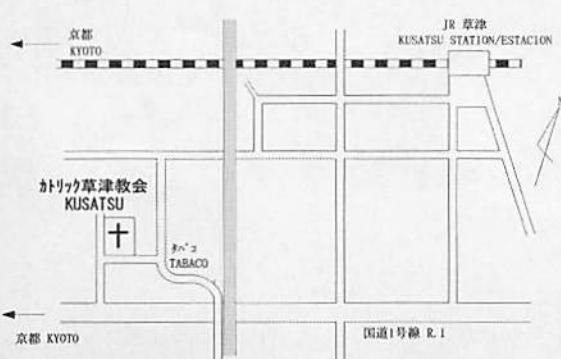
昼から南米の信者がぼつぼつ入ってくる。二時半からアルフォンソ

神父がスペイン語のミサをたてる

このごろ参加者の人数が減つたが、今日は一週間遅れてペルー人が母の日を祝うことになつていているので、

〒525-0034
草津市草津一十九-二十一
電話 077-562-3510
FAX 077-566-0431

普段より多く集る。南米固有の楽器の伴奏で活気あるラテンふうの典礼が段々もりあがる。にぎやかにミサである。後でお母さんたちのためのパーティー。同時にブラジル人が入つて来て、同じホールで別のパーティを開く。ブラジル人の共同体は第二日曜日に母の日を祝つた。かなり豪華な典礼とパーティを催したが、この日も集つてパーティを開く。言葉が違う。音楽が違う。食べ物が違う。しかし、皆仲よく台所とホールのスペースを分かち合う。その内に食べ物も分かち合つて、いっしょに踊るようになる。日本人も混じつて踊る。教会の役員会が計画した訳ではないが、国際交流ができた。



日本語	主 日	午前十時
ミサ	土 曜	午後七時
英 語	第四主日午後二時	
スペイン語	第三主日午後二時半	
ポルトガル語	第二主日午後二時	

大聖年指定行事

滋賀地区安土セミナリヨ二〇〇〇

去る五月二十八日(日)に、文芸セミナリヨ館(滋賀県安土町在)を借りて、表題のごとく銘うつて、大聖年としての祈りとお祝いの行事を、滋賀カトリック協議会主催で執り行うことができました。

この施設でミサを捧げることは駄目だと事前の状勢で認識させられていましたのに、主の計らいだと信じられるような経緯で、当、大塚司教様司式で天使ミサを捧げることができました。

ミサ時には、この施設に備えられている大きなパイプオルガンによる天使ミサの樂の音が奏でられ、安土セミナリヨ記念ミサの歴史の中では、初めてのミサの時と同じ位の感動を恐らく参会者に与えたものと思っています。

よう祈つていきたいものと思つています。

ミサの後は、バイオオルガン演奏を桑山彩子さん、独唱を東朝子さん、野木芳枝さん、矢守真弓さん、フルート演奏を塚本糸里さん(ピアノ伴奏小川美穂さん)によってコンサートが開かれ、演奏会の締めくくりには、参会者も共に大合唱となり、大きな喜びを共にすることができました。

この集まりの中に、県下で働いておられる外国人の方も多数来ていただき、集まりを盛り立てていただいたことを申し添えます。

(文責・大津教会 長崎)



共同司牧四教会（桂・九条・長岡・西院）

合同教会学校サマー・キャンプ報告

現在、京都教区では共同宣教司牧を推進しています。その中で、近隣小教区間の共通理解、共通認識、共通体験を深めることが大切な点です。このような状況において、次の世代を担う子どもたちの信仰教育においても、共同での取り組みが重要になります。

この認識から、私たちの四教会では、各教会で「子どもと共に捧げるミサ」を月に一度行い、典礼奉仕を子ども中心に行っています。

また、合同教会学校を今年度から年に数回開催し、その目玉でもある合同のサマーキャンプを、七月二十一日～二十三日に、滋賀県大津市のメリノールハウスで、昨年より一泊増えた二泊三日で行いました。

これらを合同で行う主旨と目的は、より広い共同体での信仰養成と、信仰養成のための協力関係づくりで、それによって互いに養

成されるという利点があります。加えて、より多様で内容の充実した企画を作り上げる事が出来ます。

サマー・キャンプは、年間・月ごとに決められたテーマとテーマ曲にそった内容で行いました。年間テーマは『神様といつもいっしょ』で、七月の月間テーマとキャンプのテーマは『聞こう、話そう』でした。

●初日のプログラム「互いに知り合う（特にグループで）」

●二日目プログラム「聞こう・話そうフィールド・ピング」



各班ごとに、自分たちでミサを作りました。その役割は……

- 三日目「手づくりのミサ」各班ごとに、自分でミサを作りました。それをすべて準備しました。祭壇の位置ぎめから、手づくりの十字架をはじめ、奉納用の籠を木の枝で編んだり、松ぼっくりのストラまで作りました。

★聖歌隊・バンド・ミサ中の音楽

を担当。一人ひとつの楽器を担当し、ハモリのコーラスなど、大きな声で、ミサを豊かにしました。

しの一分メモ」のように、朝晩の祈りと毎食後の祈りの間に、リーダーによる三分間スピーチをしました。次の世代へ伝えたい信仰のメッセージを、それぞれのリーダーが、自分の言葉で、自分の経験から理解したものを、子どもたちへ伝えました。

「キャンプ・ファイヤー」

各班が企画した出し物と歌や寸劇を披露しました。その後、みんなで天体観測をしました。

★会場づくり班——ミサに必要なものをすべて準備しました。祭壇の位置ぎめから、手づくりの十字架をはじめ、奉納用の籠を木の枝で編んだり、松ぼっくりのストラまで作りました。

★朗読劇・奉納班——朗読個所の選定から、書簡の朗読、福音劇を、班のメンバー全員で表現しました。

★スペシャル侍者班——侍者の基本動作に始まり、ミサ用品の名前をおぼえたり、侍者の極意（？）を習得するべく、大特訓をしました。

全プログラムの中で、信仰教育という観点から、新しい試みをしました。それは、NHKの「暮ら



教区カトリック協議会

京都教区共通 新『小教区規約』の審議進む

六月十七日(土)行われた第七回カトリック京都司教区・教区カトリック協議会の内容を報告します。正式な議事録は各小教区・修道院に送付されています。議題は次の通りでした。

- 1 司教総会の報告
 - 2 共通・新「小教区規約」審議
 - 3 各地区の大聖年行事の報告
 - 4 大聖年特別企画チームの報告
 - 5 典礼委員会からの提案
 - 6 本部事務局からの連絡事項
- (1) 各地区的状況の発表
- ◆共通・新「小教区規約」審議
- ◆各地区から話し合いの結果が報告された。ほとんどの地区で規約の実状についてまとめ、統一できる項目について整理した程度で、共同宣教司牧を進めるうえで何が必要かという視点からの検討は不十分であった。
- (2) 質問に対する大塚司教の回答
- 規約を統一することについて
 - 各小教区において役員の選出方法、任期、時期がバラバラでも共同宣教司牧の妨げにならなければ、共通にする必要はない。共同宣教

司牧では、広い地域に向かって福音宣教をしていく共同体作りをしようとしている。そのために何が必要かということである。

・教会と信徒会の関係について信徒会と教会が別の規約を持つていて二元化されている現状があれば問い合わせなおすべきだ。教会は神父が主役ではないし、信者だけの自治会でもない。

・小教区の統合について
神父の数が足りないとか、将来教会を統合するために共同宣教司牧をやっているわけではない。社会に向かって福音していく共同体になることが目的である。しかしながら、その結果として小教区の統合をする可能性もあるだろう。

(3) 次回までの課題(大塚司教)

各教会の代表が地区協議会で話し合うのではなく、共同宣教司牧のチームで、福音宣教する教会に変わっていくために共同宣教司牧の中で何が共通のルールとして必要なのか話し合っていただきたい。10月の協議会でそれを再度発表していただく。共同宣教司牧チームができないところは共同宣教司牧にならざるを得ないことを続けていきたい。

ではだめだという危機感が私にはある。一人一人が回心していくときに、教会観、信仰観が変わっていくのだと思う。原点を忘れないで、皆で意見を出し合って歩みを進めていくことに意味がある。

・今の規約でうまくいっているという意見について、ちょっと隣付き合いをするだけなら、共通規約が無くても差しつかえないだろう。福音宣教する教会になるために、共同宣教司牧を本格的に稼働させていけば、自分達の活動をどうか改めたり、視野を広げたり、本質的な理念を変えたりしていかないと、うまくいかなくなる日が来るのではないかと考える。共同宣教司牧を進めていく環境作りをするため、まず共通のルールが実際に必要ではないか。

- ◆出席者【主宰者】大塚司教【重代表】荒田和彦、別宮道夫、Sr岩間尚子、オヘル師、奈良地区【奥本孝史、石山博文、Sr日宇美智子、タロク師】滋賀地区【今井章夫、児玉協子、京都北部代表】細野乃武夫、藤村嘉彦、Sr渡辺嘉子、谷口師【京都南部代表】奥本裕昭、松崎茂、Sr友野都、【福音センター代表】前川桂子【青年センター代表】佐藤紀子【司教総代理】村上(眞)師【本部事務局長】森田師【オブザバー】河野アメリア、ブルーノ師【書記局】奥本裕、湊路易、山本信子、梅原けい子【欠席者】Sr野本節子、ジャクソン師、ボアベー

予想されるかを中心にして話し合っていただきたい。

- ◆大聖年特別企画チーム・ニューミレニアムソング委員会から、典礼委員会に典礼音楽推進プロジェクトチームをつくり、地道な活動を進めることにしたと報告された。◆典礼委員会から、今年の2000年のクリスマスを、特に地域に呼びかけてお祝いすることが提案された。▼十一月二十三日の教区創立記念日に教区レベルでの大聖年ミサを行う予定。

- ◆出席者【主宰者】大塚司教【重代表】荒田和彦、別宮道夫、Sr岩間尚子、オヘル師、奈良地区【奥本孝史、石山博文、Sr日宇美智子、タロク師】滋賀地区【今井章夫、児玉協子、京都北部代表】細野乃武夫、藤村嘉彦、Sr渡辺嘉子、谷口師【京都南部代表】奥本裕昭、松崎茂、Sr友野都、【福音センター代表】前川桂子【青年センター代表】佐藤紀子【司教総代理】村上(眞)師【本部事務局長】森田師【オブザバー】河野アメリア、ブルーノ師【書記局】奥本裕、湊路易、山本信子、梅原けい子【欠席者】Sr野本節子、ジャクソン師、ボアベー

- ◆出席者【主宰者】大塚司教【重代表】荒田和彦、別宮道夫、Sr岩間尚子、オヘル師、奈良地区【奥本孝史、石山博文、Sr日宇美智子、タロク師】滋賀地区【今井章夫、児玉協子、京都北部代表】細野乃武夫、藤村嘉彦、Sr渡辺嘉子、谷口師【京都南部代表】奥本裕昭、松崎茂、Sr友野都、【福音センター代表】前川桂子【青年センター代表】佐藤紀子【司教総代理】村上(眞)師【本部事務局長】森田師【オブザバー】河野アメリア、ブルーノ師【書記局】奥本裕、湊路易、山本信子、梅原けい子【欠席者】Sr野本節子、ジャクソン師、ボアベー

聖書講座シリーズ「旅する神の民」5／17、18

回心、福音を信じる

諫訪栄次郎

私は五年前、あの大地震のとき高槻にいたんですが、神戸に移りました。生まれてずっと育ったから地の利もあるということだったんですね。教会もひどいダメージを受けたわけですが、造り直そうというときに、「前の教会、作つたらあかんぞ」となったんです。

中央区にある灘と中山手、下山手の三つの教会を一つにして神戸中央教会を作るというので二年経ちましたが未だに模索中で建つてません。建物じゃないですよ。やっぱりこれ、回心の問題なんですね。

震災のときにね、外国人の方で被災した人結構いるんです。役所に「被害受けた証明書ください」というと、役所が調べてね、「あんまり屈から言つたら、そなんですね。でも、実際に怪我してんですよ。だいぶ食い下がって罹災証明書買うんです。

ある時は、小学校の体育館が、避難所になって、千五百人位がギュウギュウ詰めの段ボールで仕切つ

て住んでいるのです。お弁当がね、足らなくなることがあるんですよ。で、「この町内ではこんだけで数え足りるはずやけどな。ちょっと悪くいけど、こん中で住所のない人出て下さい」。何人か、やっぱり、追い出されるわけですよ。また路上生活に入るわけですね。

ですから、そういう行政の「こぼれた人」を大事にせんといかんわけです。かつての中山手の救援本部が一番大事にしようとしたのが、そこらへんやつたわけです。

一年間、震災後、ずっとやってきたんですけども、「これは、震災があったとか、ないの話じやなくて、前からあった筈や」と言うことに気がついて来て、被災の救援本部をやめて、「社会活動神戸センター」ということにした。

震災の時に、随分この辺体験したんです。カトリック信者が、教会が、いかに錯覚起こしていたかということを。當時大阪司教区の司教館は、西宮にあって救援センターになっていたんです。神父達がね、「はい、この水は○○修道

院や、はい、この服は○○教会や、はい、このなんとかは、どこそこミッションスクールや」言つてね、一生懸命やっててボランティアの青年達が、必死になつて運ぶんです。三日、四日して来ると、青年達がね、「あの、僕等はもう、帰りますわ」言うて、「あ？ 君らまだ、これからやで」言うたら、「こここの救援物資は、教会のためじゃない、皆のものですよね。なのに、なんで教会、教会言うの？」だから、僕等こんなところではできません、帰らせてもらいます」。必死で救援活動していたのに、私たち教区の司祭が、教会のことしか考えなかつた。

住吉の司祭館はグニヤーと菱形になつたんで、危ないから潰したんです。教会の壇も外に大きく傾いてしまった。医療部隊が来るつて言つて、とりあえず壊れた司祭館を全部とりのぞいて、プレハブ作つて、きれいに整備して、「さあ来て下さい」。そしたら、自治会の会長が飛んで来たんですね、「お前ら、何考えとんのや？」、

「はあ？」、「中側、綺麗にしたんを読む時に、気になりだしたんですね。そして読んでみたら、そういう読み方で、今までと違う視点で、違うポイント、立場から読み出したら、もっと聖書がおもしろくなつて来たんですね。

あるミッションスクールでは、そこで寝たりしてるんだけど、そんな時信者の方が、「早く帰らんと、御ミサできへん」。こんな、氷山の一角ですよ。

僕等、なんか、すごい勘違いしてるんぢやうかな、信者のことは、なんか、チラッと思うけど、教会の境内の外に関しては、まるつきり考えてなかつたんが、モロ分かりやつた。言葉では言いますよ、「みな、愛しましょ」なんて。全然わかつてなかつた言つことが、地震の体験でいっぱいある。

私たちは長いこと、自分たちの教会について、宝塚みたいなこと、思うとつたんです、「清く正しく美しく」ね。これがキリスト教、思うとつたんです。それから聖書を読む時に、気になりだしたんですね。そして読んでみたら、そういう読み方で、今までと違う視点で、違うポイント、立場から読み出したら、もっと聖書がおもしろくなつて来たんですね。

2000年 大聖年特別献金一覧

教会名	入金日	金額	教会名	入金日	金額	修道会名	入金日	金額	その他	入金日	金額
河原町	6/12	287,474	丹後大宮	6/29	14,800	スヴェール本部	6/5	10,000	クリアンセンター	7/6	20,700
桂	6/29	17,780	峰山	6/29	15,600	スヴェール深草	5/24	5,000	置名希望	7/5	20,000
北白川	6/23	30,078	大津	7/12	18,650	幼きイエズス信	5/19	20,000	宮津曉星幼稚園	7/3	10,000
衣笠	6/29	34,546	唐崎	6/29	13,000	幼きイエズス衣	5/25	10,000	長浜保育園	6/16	10,000
宇津	6/21	2,700	安曇川	7/3	25,800	カロンデレヨゼフ	6/5	10,000	エスラビオス学園	6/23	10,000
山国	7/31	3,000	草津	7/3	6,500	聖ドミニコ会	6/5	5,000	高田幼稚園	6/2	10,000
九条	6/29	11,090	彦根	7/3	23,400	宇治カルメル会	6/21	20,000	希望の家保育園	5/25	10,000
小山	7/5	7,150	長浜	7/13	15,521	聖ドミニコ宣教部	6/15	50,000	幼稚園連盟	6/19	200,000
西院	7/5	23,824	御所	6/29	23,400	女子カルメル会	5/29	181,319	舞鶴聖母幼稚園	6/2	10,000
高野	6/21	64,210	富雄	6/26	10,361	ノートルダム教育	6/5	30,000	葛කトリック幼稚園	6/5	10,000
西陣	7/28	50,000	登美ヶ丘	6/29	33,156	聖フランシスコ会	5/22	10,000	聖母女学院短大	6/12	10,000
伏見	7/7	20,951	奈良	6/21	64,450	ウイチタヨゼフ本部	5/23	10,000	聖母保育園	6/15	10,000
桃山	7/3	19,195	大和郡山	6/29	30,000	聖ウルスラ会	7/3	3,000	ノートルダム学院	6/15	30,000
山科	6/21	40,820	大和高田	7/27	20,000	ノートルダム鹿谷	5/22	20,000	メリノール女子学院	6/21	10,000
八幡	6/29	26,500	西大和	6/29	12,053	PAGASA	5/31	3,000	郡山幼稚園	6/16	10,000
宇治	6/29	34,067	大和八木	7/3	29,150	隣保聖体会	5/25	8,000	テレジア幼稚園	6/19	10,000
谷	7/7	8,140	伊勢	7/10	15,521	スヴェール九条	7/19	3,000	マリア保育園	7/14	10,000
丹波	7/14	40,800	桑名	7/5	32,600				小さき花幼稚園	6/19	10,000
田辺	7/5	44,542	鈴鹿	7/19	9,800						
精華	6/29	16,500	亀山	7/11	11,300						
長岡	6/29	38,930	津	6/29	91,000	修道会計		398,319	その他計		410,700
綾部	7/6	4,000	久居	6/29	10,000						
福知山	6/29	4,000	上野	6/29	22,240						
恩寺	7/5	30,000	名張	6/29	8,260						
西舞鶴	6/29	36,300	松阪	7/19	35,768						
東舞鶴	6/13	22,940	四日市	6/29	52,510						
宮津	7/3	29,200	宇治カルメル	7/10	21,000						
岩瀬	7/19	10,000									
加悦	7/10	20,050									
網野	7/12	10,000	教会計		1,646,866				総計		2,455,685

ご協力ありがとうございました。今年は大聖年ですので、これらの献金の中には巡礼者や合同ミサの参加者からの献金も入っていることもお含みおきください。

教区本部事務局

良書紹介

私たちの信仰生活に、潤いと希望を与える、分かりやすい良書を紹介します。聖書について、第二バチカン公会議について、キリスト教について、それぞれ一冊ずつ選びました。(編集者)。

★聖書をより理解するために
フランス・ブランケンベイカー著

『イラスト早わかり聖書ガイドブック』
後藤敏夫・渋谷美智子訳

『聖書全巻(旧約続編のぞく)
地図、図表を使って、聖書の全
巻・全体がわかるように解説。
イラスト入り聖書用解説つき。
税別千五百円。』

百瀬文晃著
『キリスト教の輪郭』
女子パウロ会 1993

★第二バチカン公会議がよくわ
かるために
カトリック東京教区生涯養成委
千二百円。

初対面の人と名刺を交換する
ように、本書を通してキリスト
教と顔見知りになることが出来
るよう、分かりやすく書かれ
ています。信仰の原点を振り返
ることは、大切なことです。税別

員会編著
『講演集 第二バチカン公会議
と私たちの歩む道』
サンパウロ 1998

大聖年は新しい千年期に向か

て、第二バチカン公会議の精神
を、もう一度深めることから始
まります。そのすすめとなるよ
うに、それぞれの専門分野で活
躍する四名の司祭による基調講
演・質疑応答から構成されてい
ます。質疑応答から読み始めて
みるのも良いでしょう。税別千
百円。

お
知
ら
せ

今月の大聖年指定行事

◆京都南部地区東ブロック

名 称 子どもとともにささげる

ミサ

日 時 24日(日) 14時から

場 所 河原町教会

内 容 ミサ後地下ホールにおいて懇親会

テ マ 手をとりあってイエスさまとひとつになろう

青年センターから

◆LOOK AT ME 京都北部

宮津市大江山バンガロー村 9月

30日(土) 14時集合(10月1日

(日) 12時半解散 参加費 25

00円 申込み 青年センターに

参加申込書を 電話 075(82

福音センターから

◆養成コース 病院訪問コースII

9日(土)~10日(日) ウィチタ

ヨゼフ本部

教 区 委 員 会 か ら

◆典礼委員会 教会の祈りと聖体

賛美式 第一日曜日17時30分河原町教会、第三土曜日16時30分衣笠カルメル修道会

◆部落問題委員会・正義と平和京

都協議会 シンボジウム宗教と差別

10日(日) 14時~17時 カトリック河原町教会

渡辺英俊、森村信子、本田哲郎司会神林神父 参加費六百円

◆在世フランシスコ会 京都兄弟会 17日13時

◆信睦二金会 敬老相互祈祷の日

8日(金) 10時 西陣教会

◆聖ヴィンセンシオ・ア・パウロ会▼河原町協議会3日(日)▼京

都中央理事会17日(日) いずれも13時30分、河原町教会

◆糠みその会 28日(木) 19時45

分、九条教会

◆コーエーチェレステ 練習日 第

2、第4、第5木曜日10時~12時

柳本昭神父 場所 三重県カトリック研宗館 問合せ 電話 059

(227) 7005下平まで

◆奈良カトリック協議会 17日(日) 大和郡山▼ウォーカソン

◆河原町教会▼二千年巡礼バス旅

行 3日(日) 三重地区(伊勢

教会・四日市教会)▼マリア会バザー 17日(日)

◆九条教会 ミニバザー 3日(日) 十一時

◆京都カトリック混声合唱団 練習日 10日(日) 14時、30日(土)

19時、河原町会館6階

◆京都キリスト研究会 定例会

24日(日) 14時~16時 カトリック会館6階ホール

◆カナの会 結婚相談室開設・例

会 3日(日) 13時受付、13時半

ばを聴こう! 10月1日(日) 9時半~17時半 講師中川博道神父

対象青年男女 会費五百円 問合

せ電075(231)2017 ◆ノートルダム学院小学校 運動

会 30日(土)

◆聖母学院小学校 運動会 30日

◆聖母学院中学・高等学校 文化

祭 22日(金)~23日(土)

◆聖母教育文化センター 聖書講

座 第2期 9月29日、10月6、

13、20、27日9時半~10時半 場

所 聖母女学院藤の森学舎本館2階会議室 申込み電話075(641)0507

◆「一万匹の蟻運動」基金報告

累計26、234、578円

加入者860名(7月18日現在)

◆「諸聖人の祭日のミサ」グレゴ

リア聖歌とルネサンス・ボリフィオ

ニーによるミサ形式の演奏会

月6日(月) 19時 河原町教会

ヴォーカル・アンサンブル カペ

ラ 前売 3000円 当日 3

500円、学生・シニア 100

0円引き 問合せ カルメル会修

道院 電話0774(32)74

大塚司教の

9月のスケジュール

3日(日) 東京教区岡田武夫大司教着座式 東京カテドラル	16時半
6日(水) 園部聖家族女子高校宗教部訪問	
8日(金) 正平協運営委員会 10時~15時	
8日(金) 社会司教委員会 17時~19時	
9日(土) 仙台教区溝部脩被選司教叙階式 仙台カテドラル	11時
10日(日) マリスト会一場修助祭叙階式 大和高田教会	14時
13日(水) 司教常任委員会 10時	
13日(水) 機構改革委員会 15時	
13日(水) 東チモール ベロ司教歓迎夕食会 18時	
14日(木) 司教の集い 10時~17時	
14日(木) 東京教区正平協10周年記念式	
15日(金) 浦和教区谷大二被選司教叙階式 宇都宮海星女子学院	10時
15日(金)~16日(土) ジュビリー2000難民・移住者国際フォーラム 東京イグナチオ教会	月曜日でしたら9月18日までに、月号でしたら10月16日までにお願いします。

◆助祭叙階式

マリスト会 一場修(いちば・おさむ) 大和高田教会において
9月10日(日) 14時から行われます。どうぞお祈りください。

お知らせに載せたい情報は、11月号でしたら9月18日までに、12月号でしたら10月16日までにお願いします。

◆編集部からお知らせ
多くの日本人が自分への旅する時間を削っているかのように見えます。また、どこかに旅するといつてもそれは、英語でいうTRAVEL、TRIP、T

17日(日) 大津教会献堂60周年司教ミサ 9時

17日(日) 京都教区スカウトサンデー司教ミサ 草津教会 13時半

18日(月)~19日(火) 大阪教会管区司教會議

22日(金) 日韓関係史講演会 東京イグナチオ教会 18時45分

23日(土) 洛星高校文化祭

24日(日) 京都南部東ブロック大聖年行事「子どもとともにささげるミサ」河原町教会 14時

24日(日) 青少年委員会 18時

27日(水) 司教顧問会 10時

28日(木) 奈良葛カラトリック幼稚園改築祝別式

30日(土) 藤女子大創立50周年記念講演 札幌

アジア体験学習

私たちには『アジア体験学習』を英語でEXPOSUREと呼びます。その動詞はEXPOSEと言って、元々の意味がEXPOSE!!外に+置くです。私たちが普段と違う状況に身を置くことで自分への内なる旅に導かれるのではないかと思います。別にどこかに行かなくても、旅なんてできると思います。それは私にとって、本を読んでいる時や、映画を見ている時、祈っている時などです。自分の内なる旅へ出ている時、内なる方向に時間が流れていると思います。それは時計の針が刻む時間の進み方と違います。時計の針は太陽が東から西に沈む現象を便宜上、二十四時間で区切っているだけです。ある宇宙空間と、地球上の時間の進み方と違うように、自分の内なる方向に進む時間と時計の針が刻む時間は違うような気がします。

成長し、大人になって老いていく、やがて死になります。そういう時間の経過と共に生理的な変化が見られます。それと同じよう自らの時間、つまり自分への旅を多くすることで、その時間の流れと共に精神的な成長が見られるのではないでしょうか。私はその精神世界に「死」が存在するか分かりません。生を受けた一生、成長をし続けてほしいです。そして、たとえ肉体が滅んでも、私という精神(魂)は神様の下で生き続けたいです。アジア体験学習というブログラムは自分の身をフィリピンという場所に置くことで何かしらの参加者それぞれに合った自分への旅へと導かれます。

OURなどの観光を目的とし、その時を楽しみたいということ

で自分への旅というのは忘れがちです。それとこの体験学習とはまったく性質が違ったものであります。



私たちはある時点で生まれ、成長し、大人になって老いていく、やがて死になります。そういう時間の経過と共に生理的な変化が見られます。それと同じよう自らの時間、つまり自分への旅を多くすることで、その時間の流れと共に精神的な成長が見られるのではないでしょうか。私はその精神世界に「死」が存在するか分かりません。生を受けた一生、成長をし続けてほしいです。そして、たとえ肉体が滅んでも、私という精神(魂)は神様の下で生き続けたいです。アジア体験学習というプログラムは自分の身をフィリピンという場所に置くことで何かしらの参加者それぞれに合った自分への旅へと導かれます。